

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって一つとされ、共に主を礼拝いたしましょう。

風の吹くままに

「恵みのリズム」このリズムで生きて行きたい。対して「律法のリズム」がある。このリズムに乗ってしまうと、せっかくの神の恵みを、台無しにしてしまう。

しかし、私たちは「律法のリズム」にがんじがらめにされている社会に生きているし、そのリズムの教育を受けて来た。だから生きるリズムを、律法から恵みに変えることが必要だ。そして、それはとても難しいことだ。しかし、可能なことでもある。

「律法のリズム」とは、「ねばならない、するべきだ」という言葉が鍵語になる。例えば「あなたは愛されている神の子供です。」という恵みの言葉を「愛されている子供として生きなければならない。」と恵みを律法に変えてしまう。「平安あれ」という恵みを、「クリスチャンは、いつも平安でなければならない」という律法に変えてしまう。

私たちは、恵みのリズムで生きていきたい。関牧師

当教会は、正統的なプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一教会とは一切関係がありません。カルトや宗教問題でお困りの方はご相談ください。

2022 年度聖句

あなたがたは、主にあつていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい。ピリピ人への手紙 4章4節

週報

2022 月 9 月 4 日 Vol. 19 No. 36

主よ、あるこの道を私に教えてください。
私にあなたの真理の道を歩かします。
私の心一つにしてください。御前にお祈りします。
評86



HONOLULU CHRISTIAN CHURCH ホノルル・キリスト教会

2207 OAHU AVENUE HONOLULU, HI 96822

日本語部オフィス 973-4335

事務局 office@honoluluchristian.church

関真士牧師 sekishinji89@gmail.com



←教会 HP



オンライン献金→

2022年9月4日

礼拝開始5分前からは、心を静める時間です。他の方の祈り、
黙想の妨げにならぬよう席に着きましょう。

前奏 賛美 挨拶
Overture & Worship & Welcome

「すべてが生きる」
「私たちは一つ」
「主は、ぶどうの木」
「愛をもって生きて行こう」

献金
Offering

祈禱
Prayer

使徒信条

聖書朗読
Scripture II コリント5章18節

メッセージ 「年度聖句⑥ 和解の務め」 関真士牧師

聖餐式

賛美
Worship Song 全世界に出て行こう

頌栄 祝禱
Doxology Benediction

— 報 Announcement 告 —

- ✠ 会堂礼拝は、朝8時45分から始まります。オンライン礼拝も継続して配信しています。
- ✠ 今日の礼拝では、聖餐式が執り行われます。主の十字架を想い、心を備えましょう。
- ✠ 本日12:30PM HCCファミリーミーティングです。どなたでもご参加ください。
- ✠ 明日5日は、レイバーデイピクニックです。日英合同開催。マウカハウス庭。9AM~2PM どうぞどなたでもご参加ください。
- ✠ 沖村喜久子さん メモリアルサービス 9月17日(土)9AM viewing、10AM サービス
参列される方は、受付テーブルにてサインアップしてください。
- ✠ 祈禱会 水曜日、ZOOM-祈禱会 10:00am
- ✠ 教会ウィークリーニュースは、毎月曜日に配信されます。メールをチェックしてください。ニュースが届かない場合は、ウェブページからご覧ください。パスワードは、HCC2021。

●スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れよう。

●今日のメッセージ 「年度聖句⑥ 和解の務め」 IIコリント5:18 関真士牧師
次週のメッセージ マーク今村氏**●分かち合いのポイント**

- ① あなたは、神と「敵対関係」を持ったことがありますか。持ったとしたら、そのような関係に陥った原因は、何だと思いますか。振り返ってみましょう。

- ② あなたは、イエスが差し出してくださる、和解の食事＝パンを受け取りますか。和解の食卓の席に着きますか。

- ③ 私たちに与えられている「和解の務め＝ミニストリー」について、考えたこと、感じたことを分かち合ってみましょう。

●賛美の御言葉 詩篇 66 篇 1、2、4 節 Psalm

全地よ、神に向かって喜び叫べ。御名の栄光をほめ歌い。神の誉れに栄光を帰せよ。全地は、あなたを伏し拝みます。あなたをほめ歌い、あなたの御名をほめ歌います。

Shout for joy to God, all the earth; sing the glory of his name; give to him glorious praise!

All the earth worships you and sings praises to you; they sing praises to your name.

コリント人への手紙第二 5章 17~21 節

ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

これらのことはすべて、神から出ています。神は、キリストによって私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに与えてくださいました。

すなわち、神はキリストにあって、この世をご自分と和解させ、背きの責任を人々に負わせず、和解のことばを私たちに委ねられました。

こういうわけで、神が私たちを通して勧めておられるのですから、私たちはキリストに代わる使節なのです。私たちはキリストに代わって願います。神と和解させていただきなさい。

神は、罪を知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちがこの方にあって神の義となるためです。

2 Corinthians 5:17-21

¹⁷ Therefore, if anyone is in Christ, he is a new creation. The old has passed away; behold, the new has come. ¹⁸ All this is from God, who through Christ reconciled us to himself and gave us the ministry of reconciliation; ¹⁹ that is, in Christ God was reconciling the world to himself, not counting their trespasses against them, and entrusting to us the message of reconciliation. ²⁰ Therefore, we are ambassadors for Christ, God making his appeal through us. We implore you on behalf of Christ, be reconciled to God. ²¹ For our sake he made him to be sin who knew no sin, so that in him we might become the righteousness of God.

コロサイ人への手紙 1章 21~22 節

あなたがたも、かつては神から離れ、敵意を抱き、悪い行いの中にありましたが、今は、神が御子の肉のからだにおいて、その死によって、あなたがたをご自分と和解させてくださいました。あなたがたを聖なる者、傷のない者、責められるところのない者として御前に立たせるためです。

ヨハネの福音書 21章 10~13 節

イエスは彼らに「今捕った魚を何匹か持って来なさい」と言われた。

シモン・ペテロは舟に乗って、網を陸地に引き上げた。網は百五十三匹の大きな魚でいっぱいであった。それほど多かったのに、網は破れていなかった。

イエスは彼らに言われた。「さあ、朝の食事をしなさい。」弟子たちは、主であることを知っていたので、だれも「あなたはどなたですか」とあえて尋ねはしなかった。

イエスは来てパンを取り、彼らにお与えになった。また、魚も同じようにされた。